



りそな銀行アジアニュース

平成 17 年 7 月 22 日
コーポレート事業部国際業務室

人民元の切上げについて

2005 年 7 月 21 日、中国人民銀行は「人民元レート形成スキームの改革に関する中国人民銀行公告」(中国人民銀行公告(2005)第 16 号)を発表しました。その内容は下記の通りです。

「我が国の社会主義市場経済体制の建設的な推進及び改善、並びに資源配分におけるマーケットの抜本的な役割を十分に発揮し、マーケットへの供給をベースとした為替の管理フロート制度を構築、改善するため、当行は国務院許可を得て、人民元レート形成スキームの改革を下記の通り公告する。

1. 2005 年 7 月 21 日から、我が国は市場からの要求に基づき、通貨バスケット制度を参考とした管理フロート制を実施する。人民元対米ドルレートのペッグ制を廃止し、より弾力性に富んだ人民元為替制度を形成する。
2. 毎営業日終了後、中国人民銀行は当日の銀行間為替市場における米ドル等との取引通貨対人民元レートの終値を公表し、同値を翌営業日の同通貨との人民元レート仲値とする。
3. 2005 年 7 月 21 日 19 時より、米ドルの対人民元取引レートを 1 ドル = 8.11 人民元に調整し、同レートを翌日の米ドル対人民元レートの仲値とする。なお、外為指定銀行は顧客レートを調整できる。
4. 今後、銀行間為替市場における米ドルの対人民元レートの取引変動幅は引続き仲値の上下 0.3%とする。その他の取引通貨の対人民元レート変更幅は、中国人民銀行が公表しているものに準ずる。

中国人民銀行は市場発展の状況並びに経済金融情勢を勘案し、適切な時期に変更幅を調整する。また、中国人民銀行は責任を持って、国内外の経済金融情勢を勘案し、市場の要求に基づき、且つ通貨バスケット制を参考に人民元レートの管理調節を行う。また、人民元レートの正常な変動幅を維持し、人民元レートを合理的且つ均衡的なレベルに安定させ、国際収支の基本的なバランスを促進し、マクロ経済と金融市場の安定を維持する。

中国人民銀行
2005 年 7 月 21 日

(上記のうち、今回変更となったのは 1, 3 であり、2, 4 はこれまでと同じです。)

照会先：コーポレート事業部国際業務室（東京）電話 03 - 5223 - 5330
（大阪）電話 06 - 6268 - 6344

当資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいますようお願い致します。
* 禁無断転載